

第4章 本市の教育課題と重点的な取り組み

本市の教育課題と重点的な取り組みの見方

第1編第4章「本市の教育課題と重点的な取り組み」（13～37頁）では、今後10年先を見据え、5年間に取り組む教育施策を行っていくうえで取り組んでいくべき本市の教育課題と、これらの諸課題を改善するための重点的な取り組みについて、次のとおり掲載しています。

（例）

1 学校教育について

（1）知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成

社会の情報化が急速に進展していく中で、児童生徒がICTを活用し、情報や情報手段を自ら選択し活用していくための能力を身に付け、情報社会に主体的に対応していく力を備えることが重要となっています。今後は、教員のICT活用能力を高め、校内における情報環境のさらなる充実に努めながら、これらを有効に活用することで、分かりやすい授業の実現により情報活用能力の向上を図るとともに、学習意欲を高めることが求められています。

① 教員のICT活用指導力の推移

項目	20年度	21年度	22年度
授業中にICTを活用して指導する能力	55.9	58.7	71.1
情報モラルなどを指導する能力	55.1	64.6	65.3
授業にICTを活用する能力	64.6	65.3	79.8

* 文部科学省の「教育のICT活用指導力チェックリスト」の各項目において、4段階のうち「わりができる」「ややできる」と回答した教員（小学校、中学校）の割合

資料：越谷市教育委員会

課題に対する重点事業（第4次越谷市総合振興計画前期基本計画における主な事業）

事業名	事業内容
校内系ネットワーク運用事業	市内45校の全児童生徒の情報活用能力を向上させ、児童生徒の論理的な思考力、創造力および表現力等を高めるため、学校内のICT機器の整備等を行います。また、機器の入れ替えに伴うハード面、ソフト面の充実に計画的に行います。

本市の教育課題と重点的な取り組みを学校教育、生涯学習、生涯スポーツの3つの視点から分類

本市の教育課題を掲載

本市の教育課題の背景や求められていることについて記述

本市の教育課題に関連するデータを表やグラフで掲載

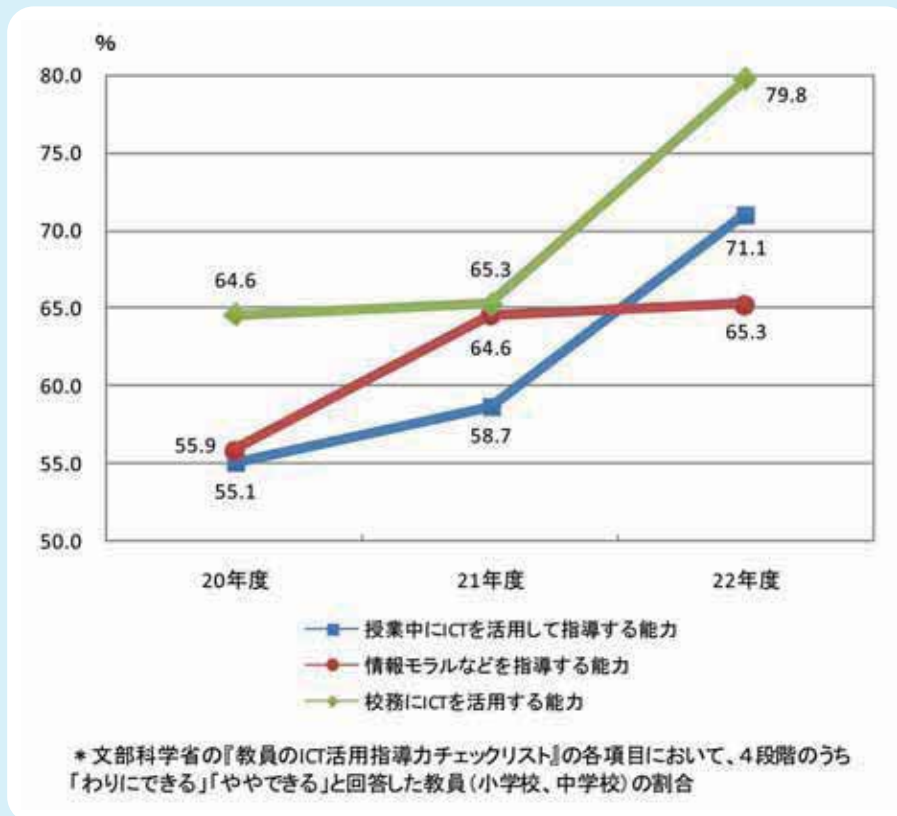
本市の教育課題を改善するための今後5年間で重点的に取り組む事業を掲載
第4次越谷市総合振興計画前期基本計画の主な事業

1 学校教育について

(1) 知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成

社会の情報化が急速に進展していく中で、児童生徒がICTを活用し、情報や情報手段を自ら選択し活用していくための能力を身に付け、情報社会に主体的に対応していく力を備えることが重要となっています。今後は、教員のICT活用能力を高め、校内における情報環境のさらなる充実に努めながら、これらを有効に活用することで、分かりやすい授業の実現により情報活用能力の向上を図るとともに、学習意欲を高めることが求められています。

① 教員のICT活用指導力の推移



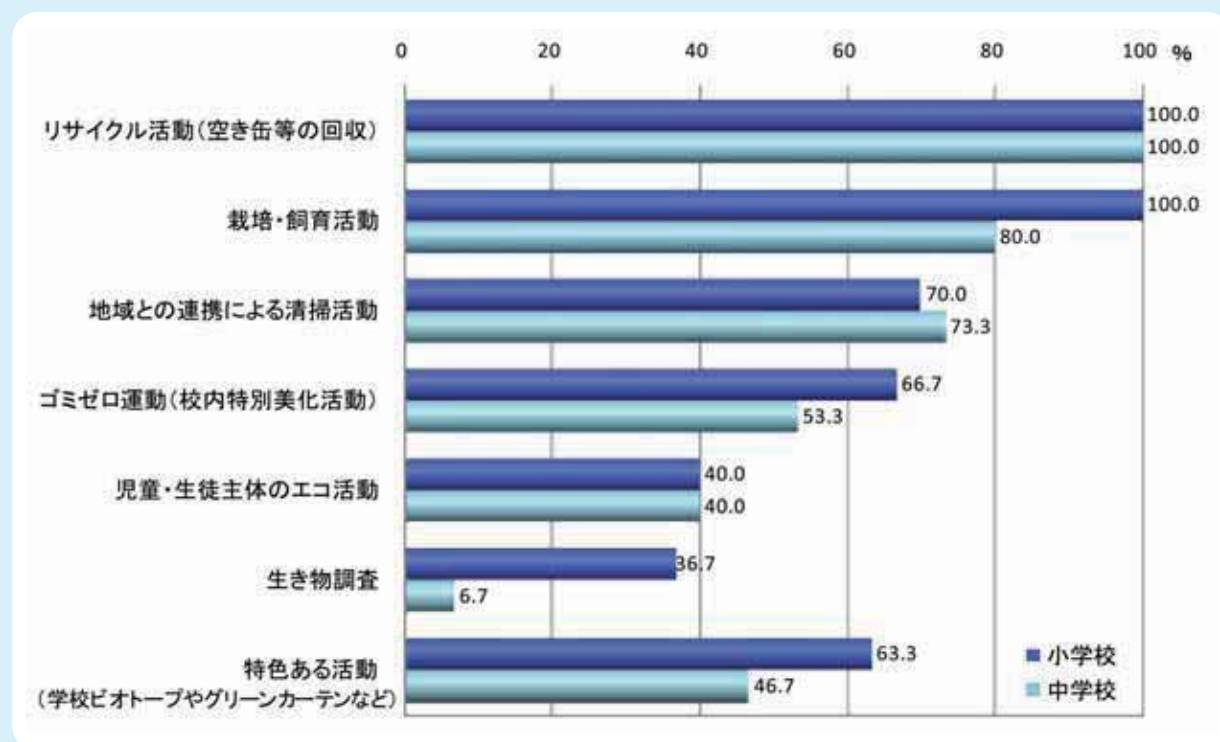
資料：越谷市教育委員会

課題に対する重点事業（第4次越谷市総合振興計画前期基本計画における主な事業）

事業名	事業内容
校内系ネットワーク運用事業	市内 45 校の全児童生徒の情報活用能力を向上させ、児童生徒の論理的な思考力、創造力および表現力等を高めるため、学校内のICT機器の整備等を行います。また、機器の入れ替えに伴うハード面、ソフト面の充実を計画的に行います。

地球温暖化などの環境問題に対しては、社会のあらゆるレベルでの取り組みが求められており、学校においても環境教育の重要性が高まっています。本市では、これまでも環境教育資料「しらこばと」を活用するとともに、^{※1}学校ビオトープや国際的な環境教育プログラムへ参加するなど、環境教育の先進的な取り組みを行ってきた実績がありますが、今後は児童生徒が自ら環境保全活動を実践できるような環境教育の推進が求められています。

② 平成22年度の環境教育取り組み状況



資料：越谷市教育委員会

課題に対する重点事業（第4次越谷市総合振興計画前期基本計画における主な事業）

事業名	事業内容
環境教育推進事業	主体的に環境保全活動を実践する態度を養うため、各教科や総合的な学習の時間などを活用し、学校の教育活動全体を通じた環境教育を推進します。

¹学校ビオトープ：学校の敷地内に設けた、在来生物がありのままの姿で生息する空間のことです。環境教育の教材として活用されています。

社会が豊かであるにもかかわらず、近年の子どもたちの食を取り巻く状況は、朝食の欠食、偏食、肥満など多くの問題をかかえています。「食」は生きるうえでの基本であって、知育、徳育および体育の基礎となるものです。様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる児童生徒の育成が求められています。

③ 毎日の朝食摂取

(単位：%)

		食べている	どちらかといえば食べている	あまり食べていない	全く食べていない	無回答
小学生	越谷市	89.7	6.6	3.0	0.7	0.0
	埼玉県(公立)	90.3	6.6	2.5	0.6	0.0
	全国(公立)	88.5	7.5	3.2	0.7	0.0
中学生	越谷市	82.5	10.1	4.9	2.4	0.1
	埼玉県(公立)	83.4	9.6	4.7	2.2	0.0
	全国(公立)	82.2	10.2	5.3	2.1	0.0

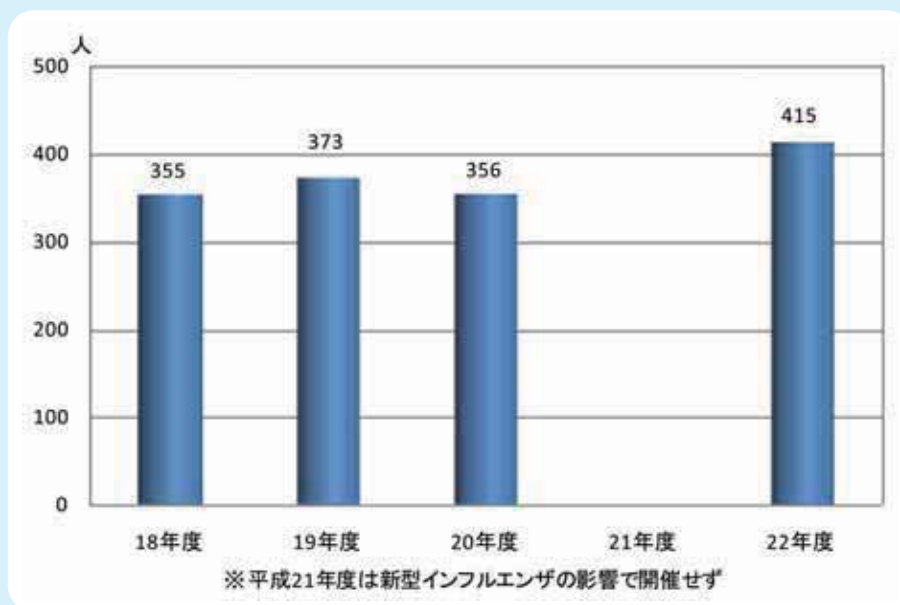
資料：平成 21 年度全国学力・学習状況調査

課題に対する重点事業（第4次越谷市総合振興計画前期基本計画における主な事業）

事業名	事業内容
食育推進事業	学校・家庭・地域の連携による食育を推進するため、栄養士の学校訪問による食指導の充実や地場農産物の活用等を図ります。また、食への関心を深めるため、給食だより、レシピ集の発行や児童生徒が考えた献立の導入等を行います。

地域の伝統・文化を理解し大切にすることは、これまで日常生活の中で育まれてきました。しかし、家庭や地域から学ぶ機会が減少している今日、子どもたちには自分たちの住む地域の伝統・文化に触れ、親しむ経験が必要です。また、活動の場が国際社会に広がる中で、他者の伝統や文化を理解し尊重するとともに、自己を確立するうえでもわが国や郷土の伝統・文化を理解し尊重する態度を養うことが重要となっています。

④ 「日本文化伝承の集い」児童生徒参加数



資料：越谷市教育委員会

課題に対する重点事業（第4次越谷市総合振興計画前期基本計画における主な事業）

事業名	事業内容
日本伝統文化推進事業	子どもたちのたくましく生きる力を養うため、小・中学生に様々な体験や本物に触れる機会を設けます。また、豊かな心を育成するため、伝統芸術に触れる機会を設けます。

(2) 特別なニーズや相談への対応

近年、児童生徒が抱える問題は多様化・複雑化しているため、児童生徒やその家族などが早期に適切な相談相手を見つけ、問題解決に向けた支援を受けることが重要です。児童生徒が、夢と希望を持って生活できる相談支援体制の一層の充実が求められています。

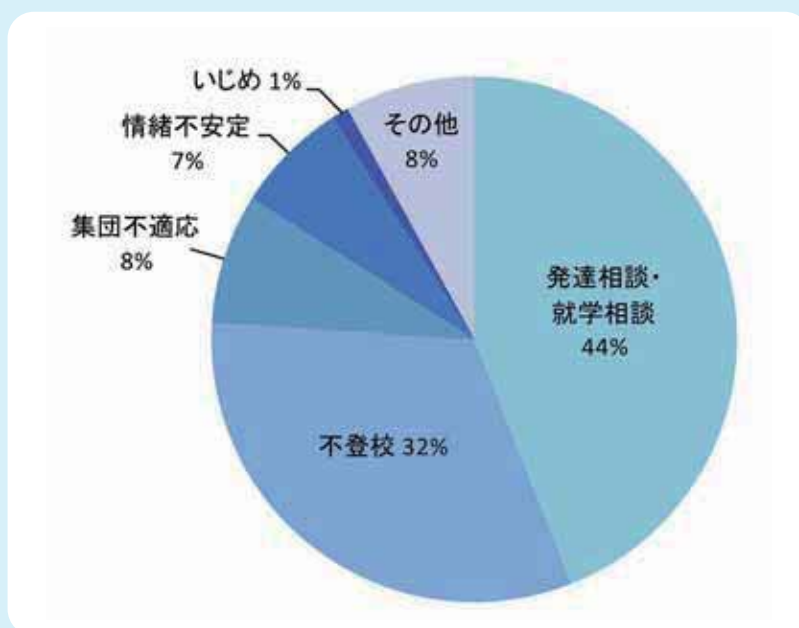
また、特別な配慮を要する子どもたちには、特別支援学級の適切な設置等、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援を行うことが必要です。そのため、就学相談の充実や関係機関との連携を深めるとともに、専門家による訪問指導の充実を図ることが求められています。

① 教育センターにおける来所相談件数



資料：越谷市教育委員会

② 平成22年度における主訴別来所相談割合



資料：越谷市教育委員会

③ 特別支援教育の在籍状況



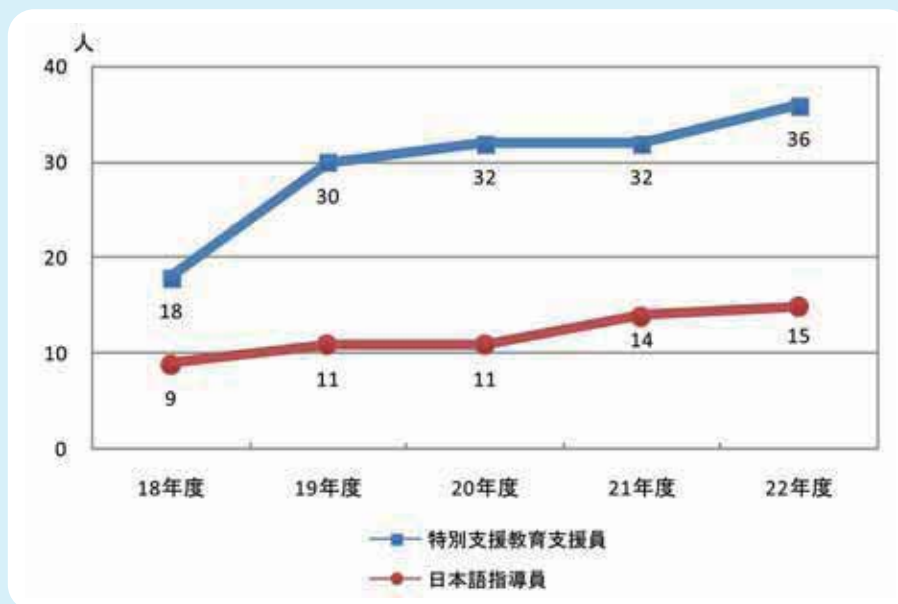
資料：越谷市教育委員会

課題に対する重点事業（第4次越谷市総合振興計画前期基本計画における主な事業）

事業名	事業内容
障がい児就学支援事業	障がいのある児童生徒一人ひとりに応じた適切な就学を図るため、越谷市障害児就学支援委員会条例に基づき、適切な就学支援を行います。
特別支援教育訪問指導推進事業	通常の学級および特別支援学級に在籍する特別な配慮を要する児童生徒のために、専門家の訪問指導の充実を図ります。

ノーマライゼーションの広がりに伴う特別な配慮を要する児童生徒の障がいの状態に応じた適切な支援とともに、近年増加する外国人児童生徒に対し小中学校への円滑な適応を図るための日本語学習支援などが求められています。児童生徒一人ひとりが快適で充実した学校生活を送ることができるよう、迅速かつきめ細やかな対応が必要であり、臨時教職員を効果的に配置することが求められています。

④ 臨時教職員の配置状況



資料：越谷市教育委員会

課題に対する重点事業（第4次越谷市総合振興計画前期基本計画における主な事業）

事業名	事業内容
臨時教職員配置事業	きめ細やかな指導の推進のため、市費による病休代替、欠員補充代替、特別支援教育支援員、日本語指導員等の配置を行います。

(3) 子どもたちの安全快適な学校環境づくり

本市の学校施設は、小中学校合わせて45校で、校舎および屋内運動場の全建物の棟数は164棟となっています。そして、そのうち118棟は新耐震設計基準前（昭和56年以前）の人口急増期に建築されたもので、耐震性が不足している建物です。また、学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす重要な学習・生活の場であるとともに、地域防災拠点としての役割も担っています。このような中、大規模地震に備えた学校施設の耐震化を図り、安全で安心なものとするのが極めて重要となっています。このことを踏まえ、本市では、平成8年度から国の補助制度を積極的に活用しながら計画的に耐震化を進め、平成22年度までに62.8%の耐震化率となっています。今後についても、平成24年度耐震化完了をめざし、一層の事業進捗に努めますが、耐震化の早期完了に向けた継続的な取り組みが求められています。

① 小中学校施設の耐震化の状況



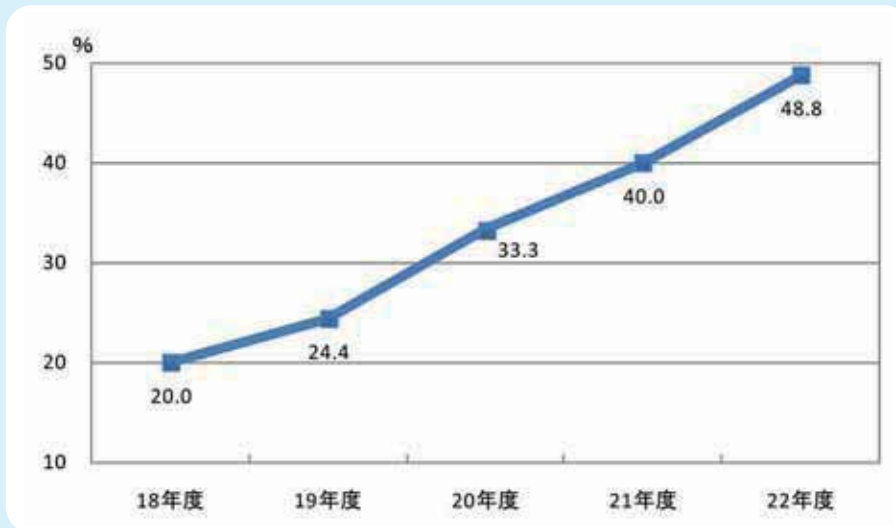
資料：越谷市教育委員会

課題に対する重点事業（第4次越谷市総合振興計画前期基本計画における主な事業）

事業名	事業内容
小・中学校施設耐震化事業	児童生徒の安全な学習環境等を確保するため、「学校施設耐震化計画」に基づき、平成24年度完了をめざし、小中学校施設の耐震補強工事を行います。

小中学校施設については、経年による老朽化で施設等の機能が低下してきており、その対応が必要とされていますが、施設の改修は財政負担が大きいことから、緊急に対応を要するものを最優先に取り組みながら、計画的に行うことが求められています。特に、小中学校施設の^{※1}バリアフリー化については、だれもが安全で快適な教育環境のもとで充実した学校生活を送ることができるよう、適切な対応が求められています。

② 小中学校施設のバリアフリー化の状況



資料：越谷市教育委員会

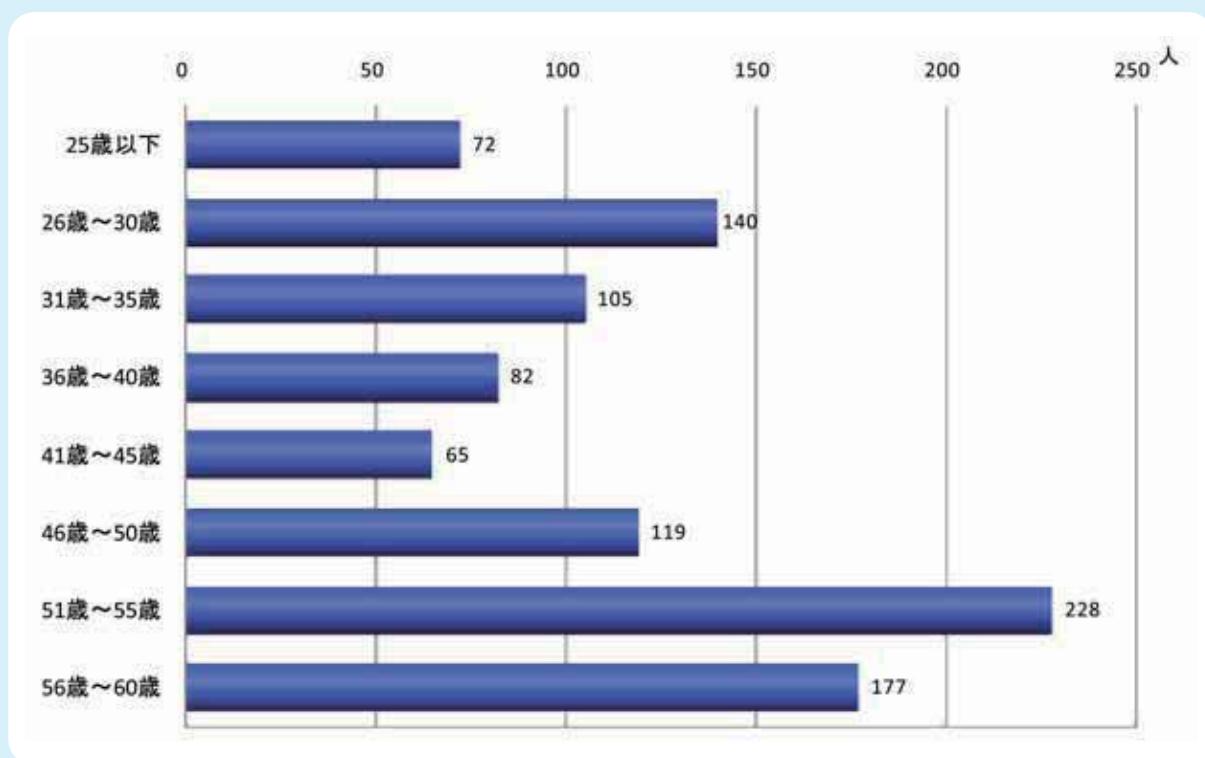
課題に対する重点事業（第4次越谷市総合振興計画前期基本計画における主な事業）

事業名	事業内容
小・中学校施設改修事業	安全で快適な学習環境を確保するため、老朽化による早急な対応が必要な箇所から計画的に小中学校施設の改修等を行います。また、施設・設備等のバリアフリー化を図ります。

¹ バリアフリー化：日常生活で支障となる物理的な障壁（段差など）を解消することです。また、精神的な障壁を取り除く意味でも用いられます。

児童生徒一人ひとりの人格形成の基礎を培う重要な時期において、担任をはじめとする教職員一人ひとりが子どもたちに与える影響は、たいへん大きなものです。自らが良き道しるべとなるよう、日常から自己研鑽に励むとともに、その持てる力を遺憾なく発揮し、心身ともに健全な児童生徒の育成に全力でのぞむ必要があります。また、教員の大量退職に伴い採用数が増加することから、年代や経験に応じたより一層充実した研修を実施するなど、教職員の資質と指導力の向上を図ることが求められています。

③ 越谷市小中学校教員の年齢構成



資料：越谷市教育委員会

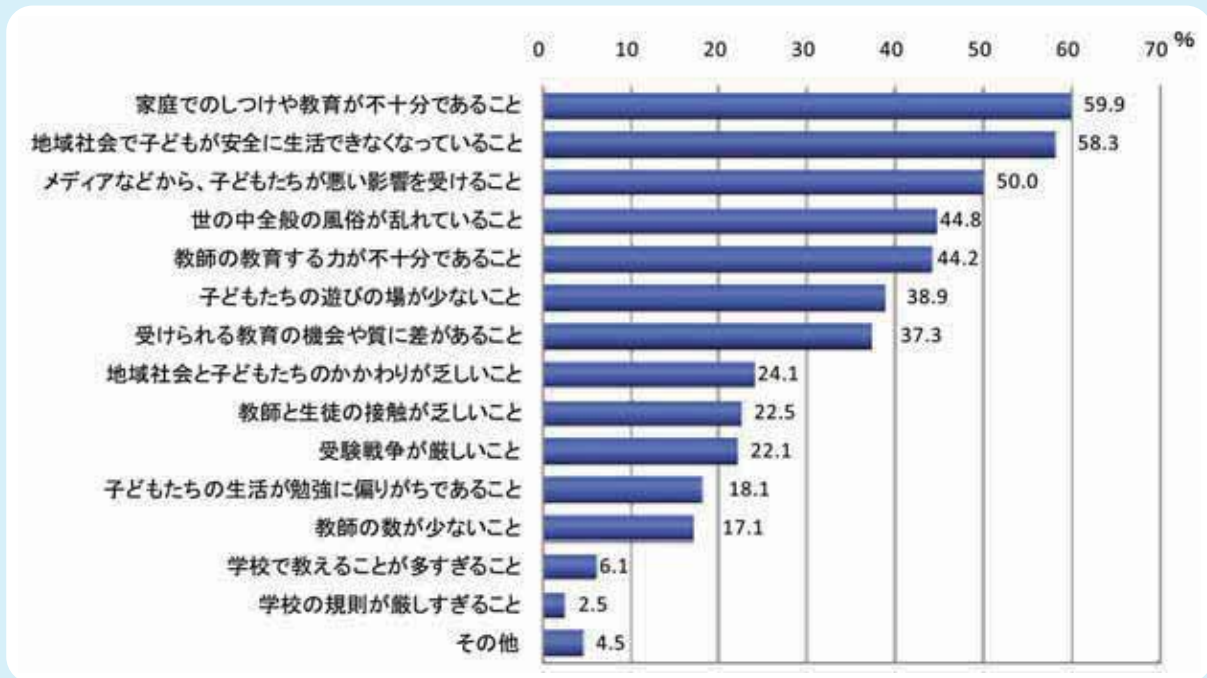
課題に対する重点事業（第4次越谷市総合振興計画前期基本計画における主な事業）

事業名	事業内容
教職員資質向上事業	教職員の資質向上を図るため、出前研修や大学教授等を招聘した専門性の高い研修など、内容や方法を充実した各種研修等を開催します。

(4) 地域ぐるみでの学校教育支援の必要性

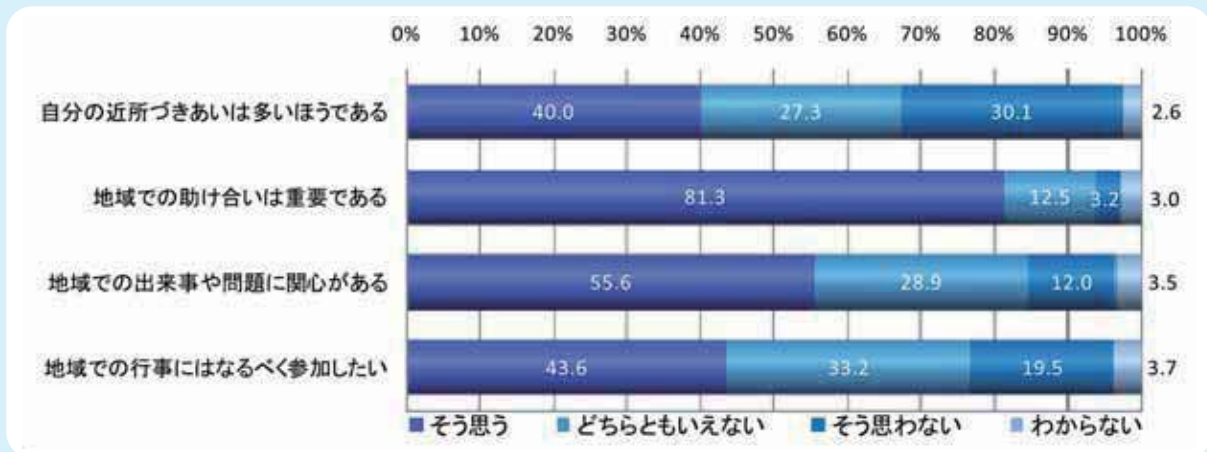
改正教育基本法第 13 条において、「学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力」が規定されたように、子どもを取り巻く環境が大きく変化する中、子どもたちを健やかに育むためには、学校・家庭・地域が連携協力して、地域全体で教育に取り組むことが極めて重要となっています。地域住民がボランティアとして学校の教育活動をサポートする「^{※1}学校応援団」を組織するとともに、「学校応援団」の様々な活動を充実し、地域ぐるみで子どもを育てることが求められています。

① 親が考える子育てや教育の問題点（国）



資料：「低年齢少年の生活と意識に関する調査」（平成 19 年）内閣府

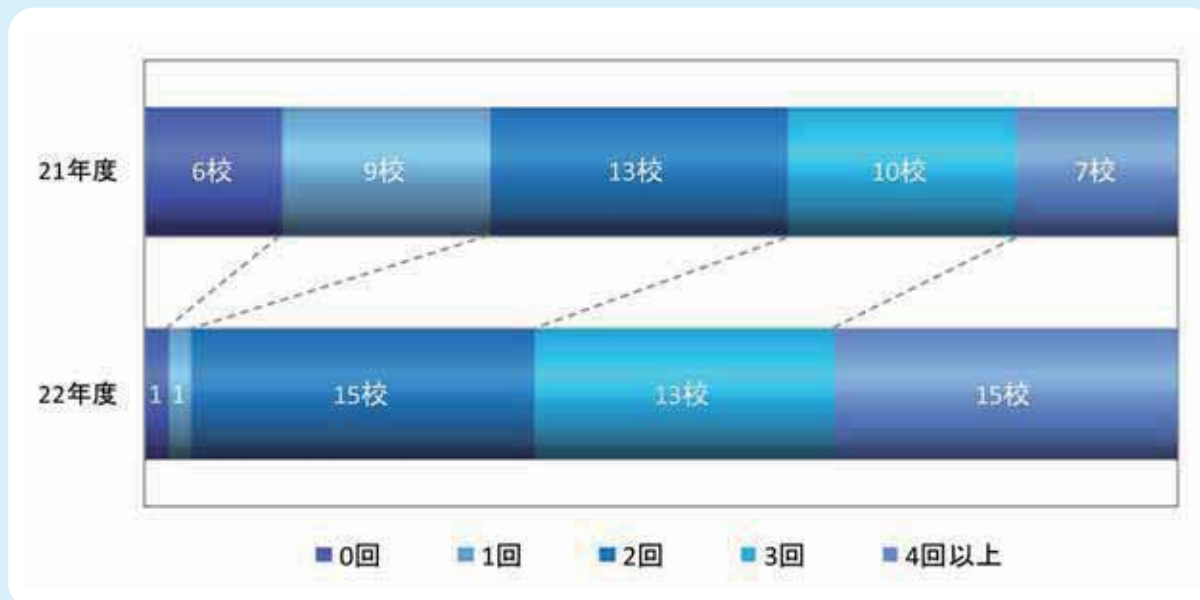
② 保護者が地域について感じていること（県）



資料：「埼玉県教育振興基本計画策定に係る意識調査」（平成 19 年）埼玉県教育委員会

¹ 学校応援団：学校の様々な活動にボランティアとして協力する保護者や地域住民の活動組織のことです。

③ 各学校における学校応援団の会議回数



資料：越谷市教育委員会

課題に対する重点事業（第4次越谷市総合振興計画前期基本計画における主な事業）

事業名	事業内容
学校応援団推進事業	学校・家庭・地域が一体となった子どもの育成の推進を図るため、「学校応援団」の活動を通じて、*1学校図書館運営ボランティアをはじめ、学習活動、安全確保、環境整備などのボランティアとして保護者や地域住民の参加を積極的に進めます。

¹ 学校図書館運営ボランティア：保護者、地域住民等がボランティアとして学校図書館の運営をサポートすることです。

2 生涯学習について

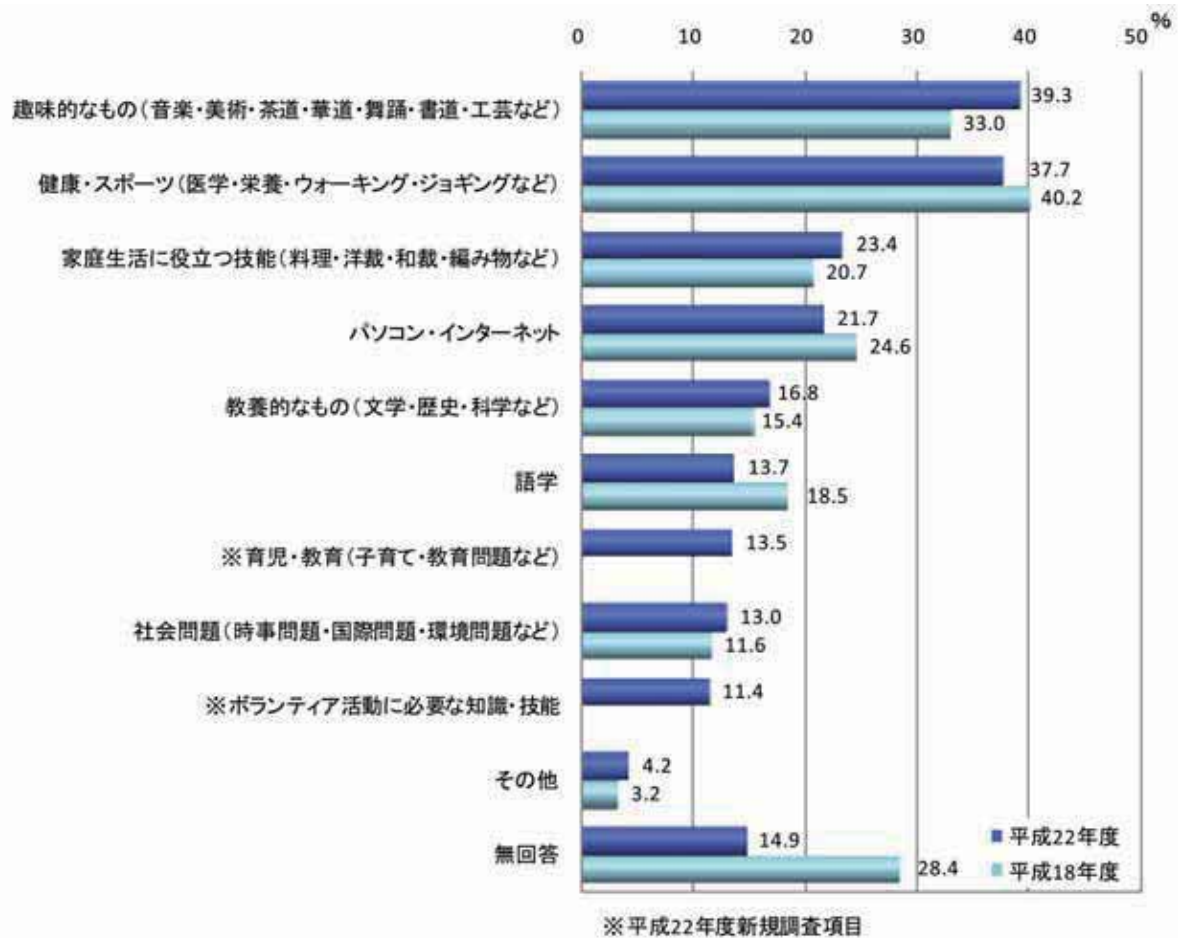
(1) 多様な学習ニーズへの対応と学習成果の活用

社会が大きく変化する中、市民一人ひとりが様々な分野でいきいきと活躍していくため、常に新たな知識や技能、考え方を身に付け、自分自身を成長させていくことが大切です。また、生活を実りあるものとするため、生涯にわたって学習に取り組むことが必要です。

こうした中、市民の学習ニーズはますます多様化・高度化しており、これらに的確に応え、市民一人ひとりが主体的に学習できるよう、ライフステージ・ライフスタイルに対応した多様な学習機会の充実と豊かな学習環境づくりが求められています。

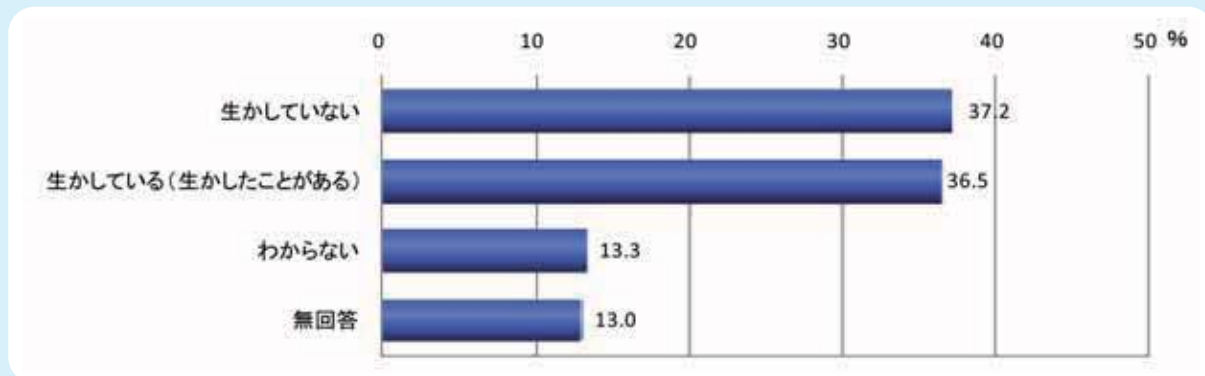
また、学習機会の提供はもとより、その学習活動を通じて身に付けた知識や技術を社会や地域のまちづくりに生かす、循環型生涯学習の推進が求められています。

① 講座・教室の開催希望



資料：市政世論調査（平成18年度・平成22年度）

② 学んだ知識・経験・技能の活用状況



資料：市政世論調査（平成22年度）

③ 学んだ知識・経験・技能の活用分野



資料：市政世論調査（平成22年度）

課題に対する重点事業（第4次越谷市総合振興計画前期基本計画における主な事業）

事業名	事業内容
生涯学習推進事業	生涯学習活動の推進を図るため、関係団体と連携し推進体制の充実を図ります。また、市民の多様な学習ニーズに対応できるよう、各種学習情報を提供し生涯学習を推進します。
各種学級・講座開催事業	市民が「いつでも、どこでも、だれでも」ライフステージ・ライフスタイルに応じて主体的に学ぶことができるよう、各種学級・講座・講習会などを開催し、学習機会の充実を図ります。また、講座等終了後の学習活動の継続を推進するとともに、学習成果を地域社会に生かし、生涯学習によるまちづくりを推進します。

(2) 人権教育の推進

人権とは、すべての人間が生まれながらに持っている、人間が人間らしく生きていくための、だれからも侵されることのない基本的な権利です。

これらを踏まえ、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」や「人権教育・啓発に関する基本計画」などに基づき、同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人等をめぐる様々な人権問題を通じて、すべての人の基本的人権が尊重され、差別や偏見のない明るい社会をめざし、人権教育・啓発を積極的に推進することが求められています。

① 人権教育に関する講座



資料：越谷市教育委員会

課題に対する重点事業（第4次越谷市総合振興計画前期基本計画における主な事業）

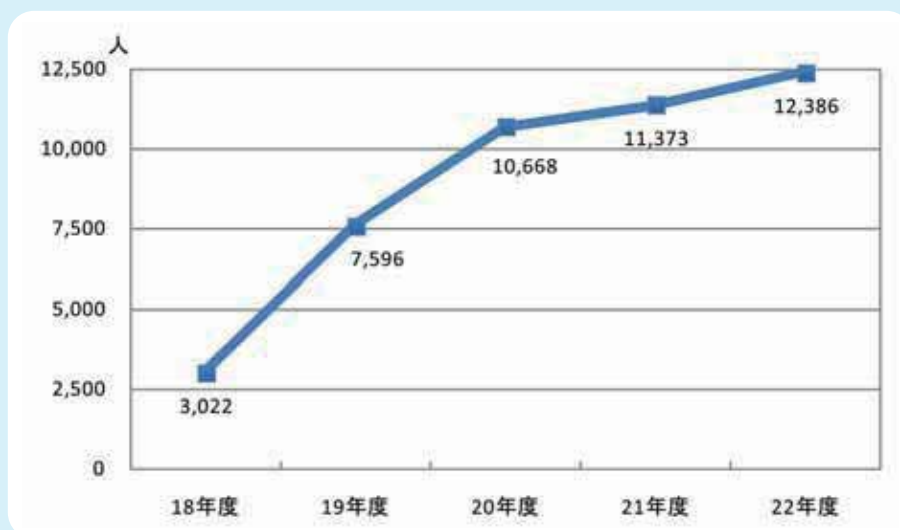
事業名	事業内容
人権教育推進事業（社会教育）	あらゆる人権問題に対する正しい理解と認識を深め、差別意識の解消を図るため、人権啓発に係る講演会・研修会を開催し、人権教育を推進します。

(3) 青少年の健全育成

近年、子ども・若者をめぐる環境が悪化し、社会生活を円滑に営むうえで困難を有する子ども・若者の問題は深刻な状況にあることから、平成22年4月に「子ども・若者育成支援推進法」が施行されました。この法に基づく施策を推進するためには、教育、福祉、雇用など各関連分野における関係各課が連携を強化し、一体となって情報共有、課題解決などに取り組むことが求められています。

このことから、青少年に関する施策の総合調整機能を持つ青少年課を中心に、全庁的に青少年を取り巻く問題について取り組む必要があります。

① 子どもの居場所づくり（放課後子ども教室推進事業）



資料：越谷市教育委員会

課題に対する重点事業（第4次越谷市総合振興計画前期基本計画における主な事業）

事業名	事業内容
青少年健全育成推進事業	子どもたちが将来に目標を持ち主体的に生きられるよう、青少年健全育成を目的とした市民団体と連携して、健全育成研修会や市民フォーラムなどを開催し、青少年健全育成事業を推進します。

課題に対する重点事業

事業名	事業内容
教室運営事業 (放課後子ども教室推進事業)	子どもたちを健やかに育むため、様々な体験事業や異年齢交流、地域の大人と交流できる活動拠点として、放課後子ども教室推進事業の充実を図ります。

(4) 読書活動推進のための環境づくり

読書活動は、市民一人ひとりの人生をより豊かにするものであり、社会全体でその推進を図っていくことが極めて重要です。市民の多様化する読書ニーズに応じるとともに、高度情報化社会に対応した住民にとって身近な「地域の知の拠点」として、図書館の果たす役割はたいへん重要なものです。あらゆるライフステージに応じた読書活動や市民の課題解決・調査研究を支援するために、図書資料の充実を図るとともに、だれもが利用しやすい環境を整備することが求められています。

① 図書館利用人数



② 図書館貸出冊数



資料：越谷市教育委員会

課題に対する重点事業（第4次越谷市総合振興計画前期基本計画における主な事業）

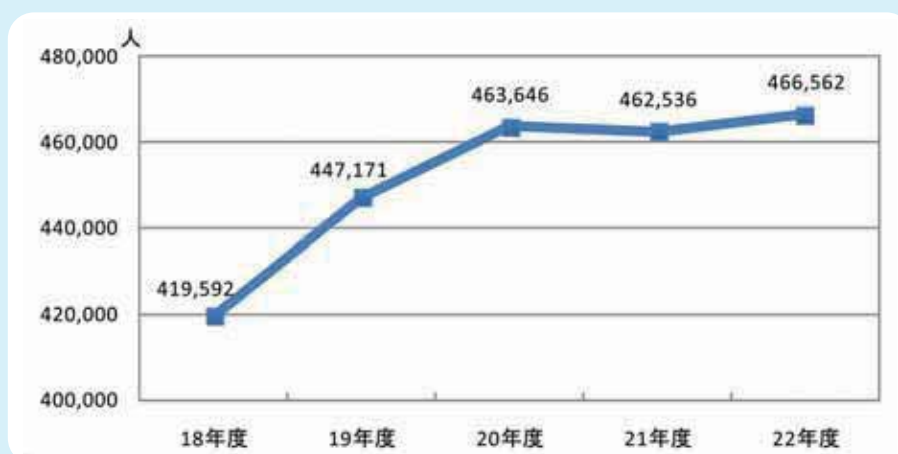
事業名	事業内容
(仮称) 中央図書室整備事業	市民の学習ニーズに対応するため、利便性の高い場所（越谷駅東口再開発ビル内）に図書室を整備します。
(仮称) 第2図書館建設事業	情報センターとしての機能を有した、新たな図書館の建設について検討を進めます。
蔵書等整備事業	蔵書の整備と図書館資料の有効利用を図るため、資料の整理・製本、図書情報の作成等を行います。

(5) 芸術文化活動の推進と伝統文化の継承

芸術文化は、市民に心の豊かさやうらおいをもたらすことから、優れた芸術文化に身近に接し、自主的に文化活動に参加できる環境づくりが求められています。

また、伝統文化や文化財などは、地域の歴史や文化を理解するうえで貴重なものであり、市民共有の財産として大切に保存し、次世代へ継承するとともに、これらの文化的遺産を活用し、郷土の歴史・文化に対する市民の理解を深めていくことが必要です。

① 越谷コミュニティセンター利用者数



資料：越谷市教育委員会

課題に対する重点事業（第4次越谷市総合振興計画前期基本計画における主な事業）

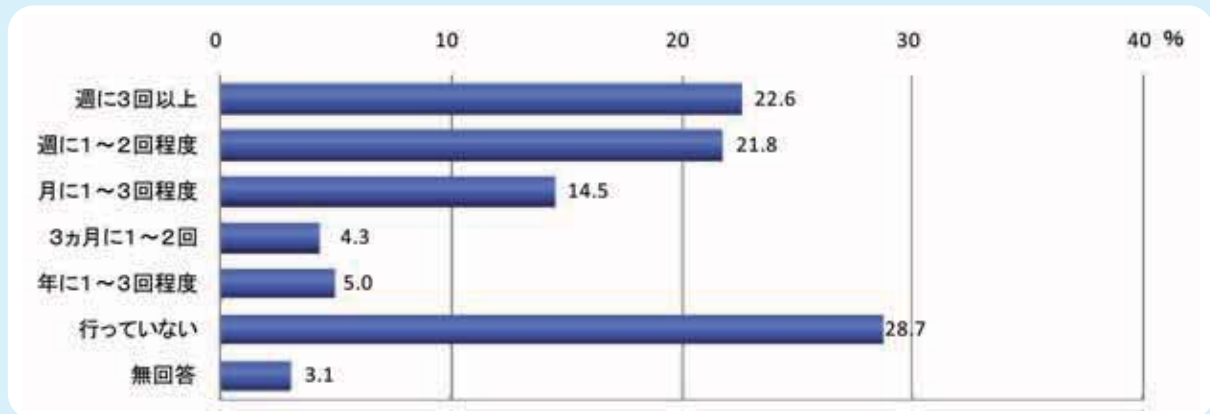
事業名	事業内容
展覧会開催事業	芸術文化活動の普及と推進を図るため、市内美術家の作品を広く公募し、入選した作品等を公開します。
伝統芸術文化振興事業	伝統芸術文化への理解を深め、特色ある地域文化を育むため、こしがや薪能や能楽体験教室など、市民に伝統芸術文化を鑑賞する機会や体験・発表の場を提供します。また、郷土芸能の保存と継承を図るため、郷土芸能祭等を開催します。

3 生涯スポーツについて

(1) スポーツ・レクリエーション活動の充実の必要性

市民のライフスタイルは大きく変化しており、スポーツ・レクリエーションに対するニーズも多様化・高度化しています。「いつでも、どこでも、だれもが、自分らしく、いきいきと」生涯にわたってスポーツ・レクリエーション活動に親しみながら取り組めるよう、活動に関する情報提供や活動機会の充実を図っていく必要があります。また、だれもが活動できるよう、活動を支援するボランティアや指導者の養成が求められています。

① スポーツ・レクリエーション活動の頻度（全体）



資料：市政世論調査（平成 22 年度）

② スポーツ・レクリエーション活動の頻度（性・年齢別）

		週に3回以上	週に1~2回程度	月に1~3回程度	3か月に1~2回	年に1~3回程度	行っていない	無回答
全体		22.6	21.8	14.5	4.3	5.0	28.7	3.1
性・年齢別	女性全体	21.9	21.6	14.4	3.4	4.8	31.4	2.6
	20歳代	8.6	22.3	15.8	8.6	12.9	30.2	1.4
	30歳代	9.7	20.8	19.9	2.1	8.5	37.7	1.3
	40歳代	17.2	18.5	19.4	5.3	6.2	33.0	0.4
	50歳代	18.9	23.5	14.3	3.6	3.1	35.2	1.5
	60歳代	35.5	25.6	9.6	2.7	1.8	21.7	3.0
	70歳以上	28.5	18.5	10.4	1.2	1.2	33.8	6.5
	男性全体	23.0	22.3	15.1	5.3	5.2	25.5	3.5
	20歳代	18.1	24.5	20.2	9.6	7.4	20.2	0.0
	30歳代	13.0	23.3	18.1	9.3	7.3	26.4	2.6
	40歳代	8.8	19.9	20.5	7.0	7.6	33.3	2.9
	50歳代	13.1	26.9	18.1	3.8	9.4	26.9	1.9
	60歳代	31.9	22.6	13.0	4.1	1.5	22.6	4.4
	70歳以上	41.5	18.4	6.5	1.4	2.3	23.5	6.5

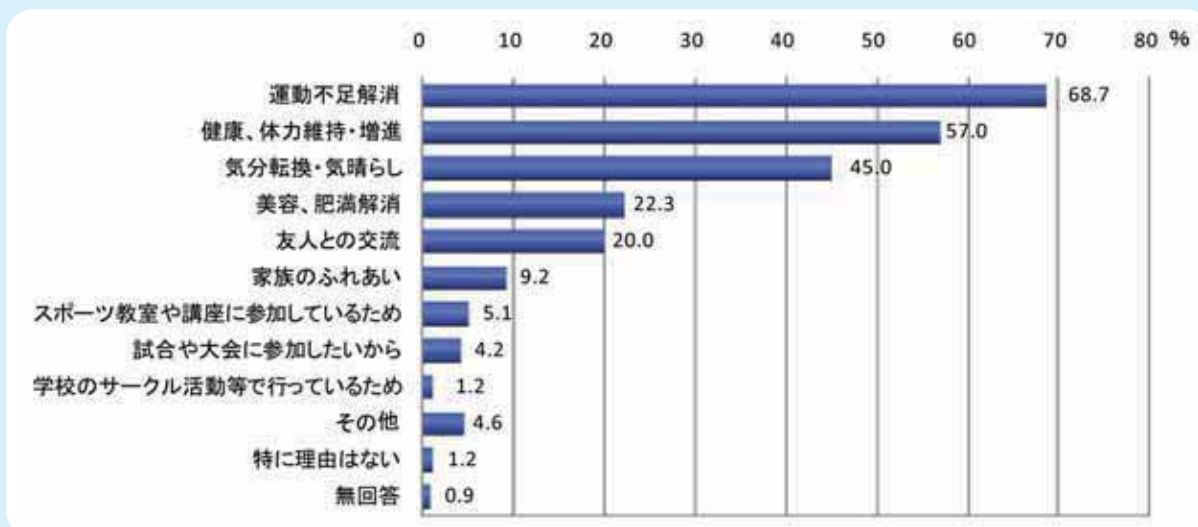
資料：市政世論調査（平成 22 年度）

③ スポーツ・レクリエーション活動を行っていない理由



資料：市政世論調査（平成22年度）

④ スポーツ・レクリエーション活動を行った理由



資料：市政世論調査（平成22年度）

⑤ 各種教室・講座等（平成22年度）

【生涯スポーツ講座】

	回数(回)	参加者(人)
北体育館	23	2,997
南体育館	66	2,594
第1体育館	26	696
西体育館	65	2,778
合計	180	9,065

【健康体操講座】

	回数(回)	参加者(人)
桜井公民館	23	731
総合体育館	24	978
大相模地区センター	8	198
県立大学	16	627
合計	71	2,534

【スポーツ教室】

	回数(回)	参加者(人)	
春期	アクアビクス教室	5	129
	男性のための軽スポーツ	4	35
	親子ふれあい体操教室	8	499
秋期	親子ふれあい体操教室	8	541
冬期	親子ふれあい体操教室	5	228
合計	30	1,432	

資料：越谷市教育委員会

⑥ ※¹スポーツリーダーバンク登録者数（越谷市登録）



資料：越谷市教育委員会

課題に対する重点事業（第4次越谷市総合振興計画前期基本計画における主な事業）

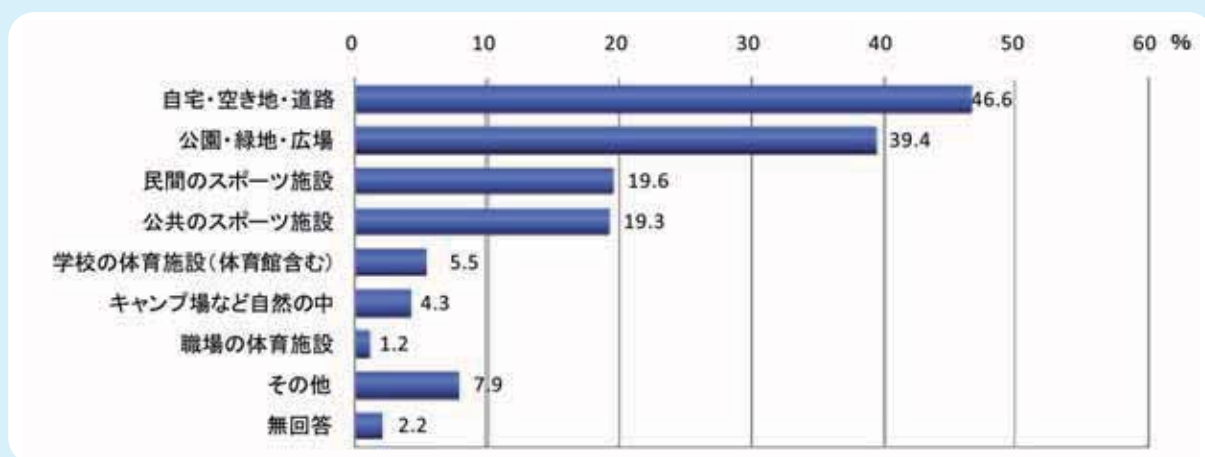
事業名	事業内容
各種教室・講座等開催事業	市民ニーズに応じたスポーツ・レクリエーション活動の機会充実を図るため、ライフスタイルにあわせた参加しやすい教室・講座を開催します。
ボランティア活動促進事業	大会やイベント等の運営には、多くの役員の協力が必要であることから、スポーツボランティアの養成と組織化を図り、市民のボランティア活動を促進します。
スポーツリーダーバンク事業	スポーツ・レクリエーション活動には、適格な指導者が必要であることから、各種スポーツ活動の指導者を登録し、地域、各種団体、スポーツクラブ等からの派遣要請に応じ紹介する「スポーツリーダーバンク」について、市民への周知と登録を促進します。

¹スポーツリーダーバンク：市民スポーツ活動の促進を図るため、スポーツ活動指導者を登録し、地域、各種団体、スポーツクラブ等の派遣要請に対し、指導者を派遣する制度です。

(2) スポーツ・レクリエーション施設充実の必要性

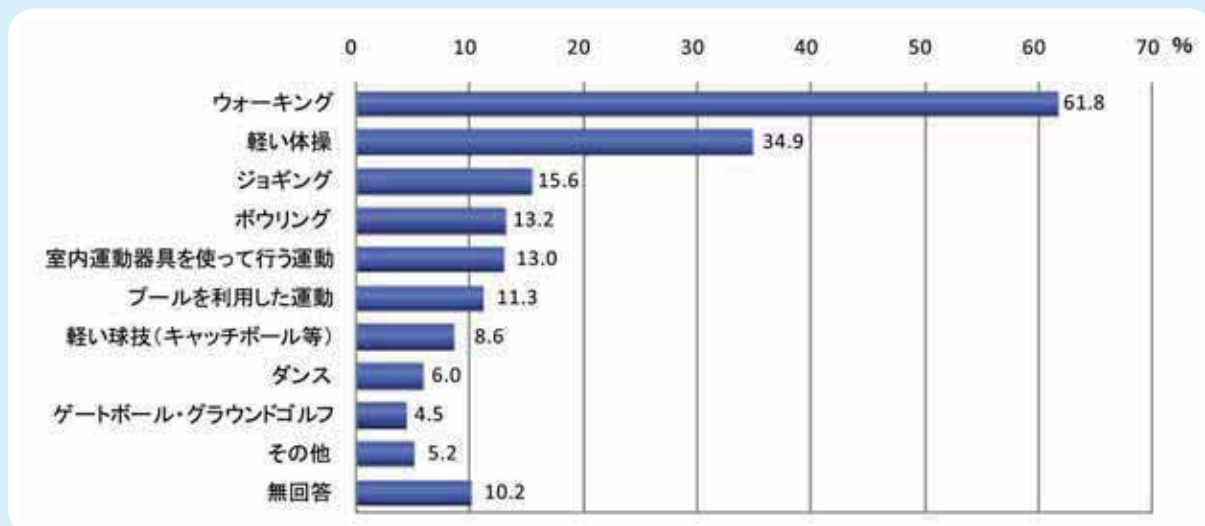
すべての市民が身近な地域で気軽にスポーツ・レクリエーション活動に取り組めるようにするためには、適切な場の確保や施設・設備の充実が必要です。安全・安心に利用できる体育施設を適切に維持管理し提供するとともに、ジョギングやウォーキングを楽しめるような身近な自然を生かした活動環境づくりが求められています。

① スポーツ・レクリエーション活動を行っている場所



資料：市政世論調査（平成22年度）

② 1年間で行った比較的軽いスポーツ・レクリエーション活動



資料：市政世論調査（平成22年度）

課題に対する重点事業（第4次越谷市総合振興計画前期基本計画における主な事業）

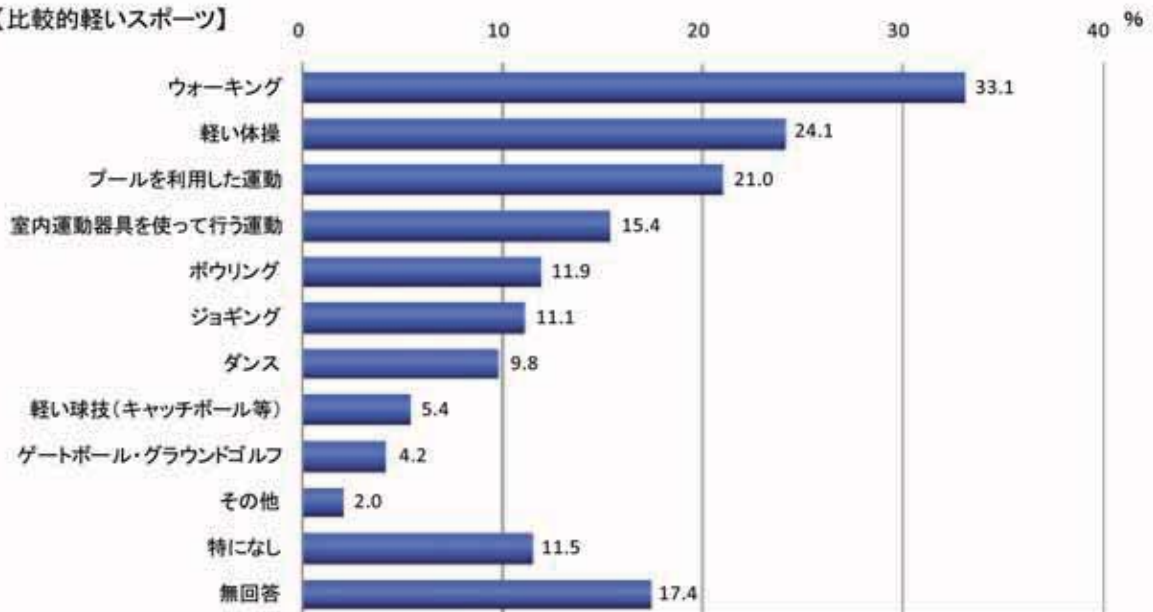
事業名	事業内容
市立体育館施設改修事業	地域体育館を安全・安心に利用できるよう、施設の修繕・改修を行うとともに、老朽化が進む第1・2体育館については、隣接する大沢地区センター・公民館との複合施設として整備を進めます。

(3) 健康ライフスタイルづくりの支援

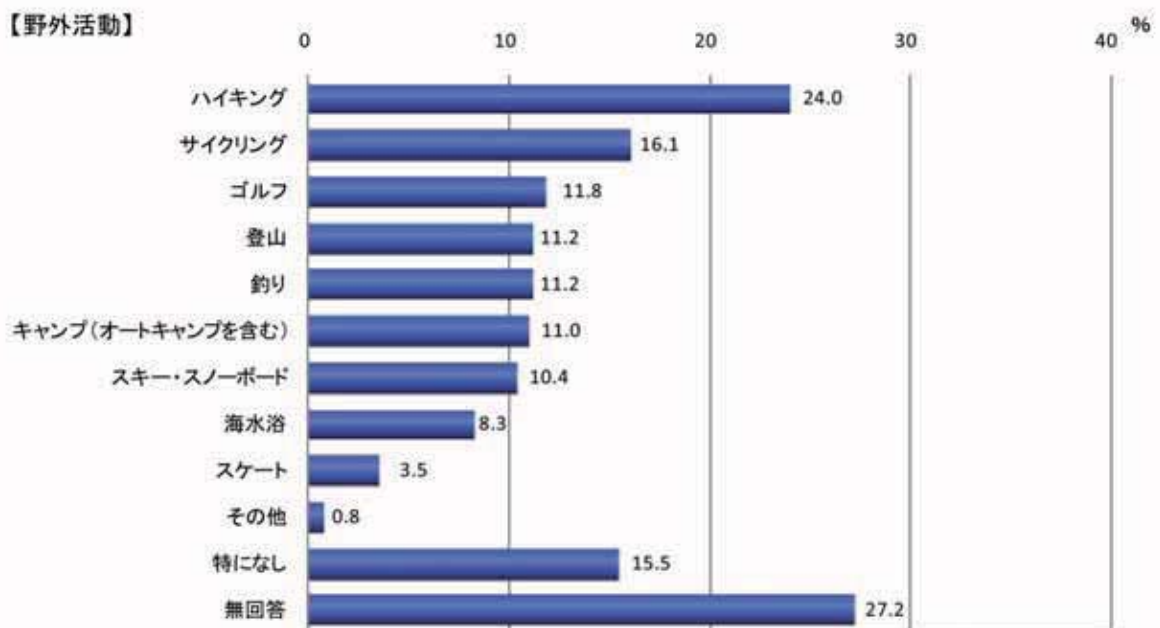
高齢化の進行や子どもの体力低下、成人の運動不足などを背景に健康に対する市民の関心は近年ますます高まっており、健康・体力づくりにおけるスポーツ・レクリエーション活動の役割が一層重要となっています。すべての市民が生涯にわたって健康で明るく、夢と希望を持って生活を送れるよう、子どもから高齢者、障がい者など市民一人ひとりのライフステージ・ライフスタイルに合わせた健康・体力づくりを今後一層進めていく必要があります。

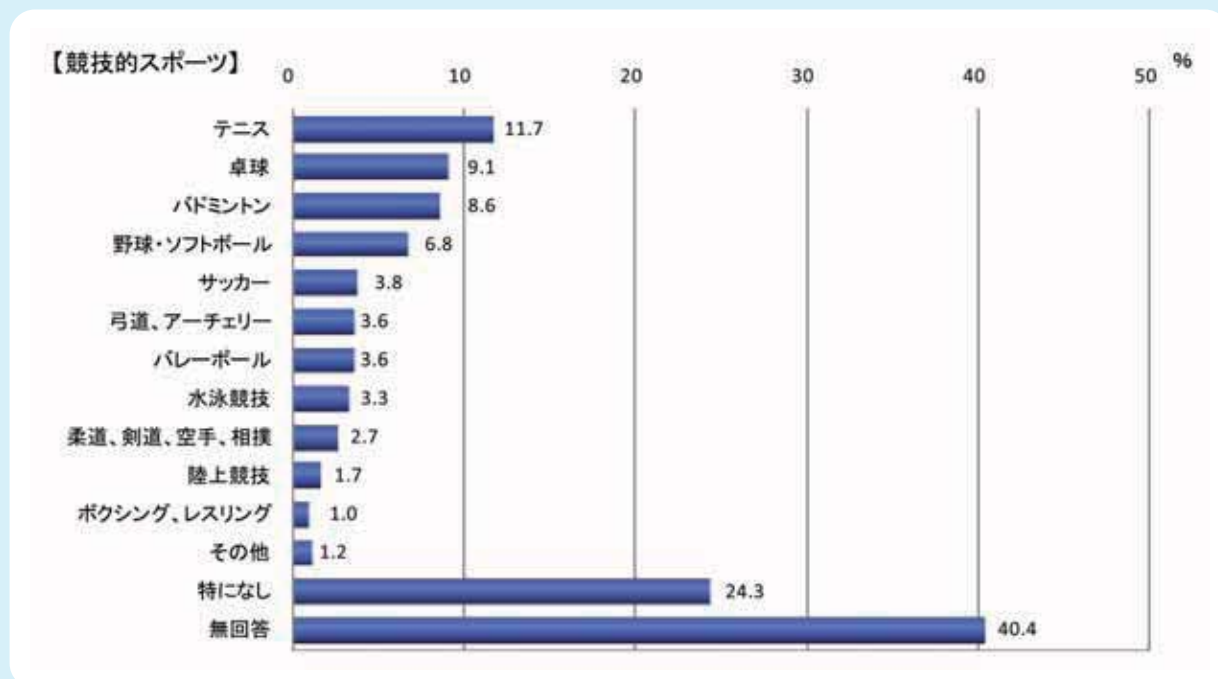
① 今後行ってみたいスポーツ・レクリエーション活動

【比較的軽いスポーツ】



【野外活動】





資料：市政世論調査（平成22年度）

課題に対する重点事業（第4次越谷市総合振興計画前期基本計画における主な事業）

事業名	事業内容
地域における子どもの健康・体力づくり事業	地域において子どもたちがスポーツ・レクリエーション活動に取り組めるよう、スポーツ団体等の活動を支援するとともに、子どもが屋外で積極的に遊べるよう、地域に働きかけ遊びを通じた健康づくりを推進します。
高齢者の活動機会充実事業	高齢者の健康の保持・増進や生きがいづくりのため、体力・健康状態に応じた運動プログラムの充実など、スポーツ・レクリエーション活動機会の充実を図ります。